



発行日 平成28年5月17日
 発行号 H28 5月号
 発行者 新潟県立小出特別支援学校
 川西分校 進路指導部

地域の皆様に感謝

新年度になり、実習でお世話になっている事業所様(十日町・津南地域で約80カ所)へ伺ってきました。一軒一軒、担当の皆様へ「今年も担当になりました。実習へのご協力をよろしくお願い致します。」とご挨拶させていただいています。地域の皆様から「時期によって検討させてもらうけど、実習ですね。分かりました。」「ああ今年もね。待ってます。」「先生、今年も担当?。またよろしくお願いします。」等と、お返事をいただきました。地域の方々からご理解いただき、今年度も実施していけそうだと、ありがたく感じています。



事業所様は実習を受けるに当たって、負担が掛かっているのが実際です。一般的な小・中・高の学校の実習と大きく違うのは、接したことのない障がいのある(配慮を要する)生徒を引き受けること、そして受け入れる時間や日数が圧倒的に増えるということです。

事業所の皆様は、当然ですが自分の仕事もされています。その中で障がいのある生徒への受入や指導では、準備や配慮、時間を必要とするため、自分の仕事の時間をさかれ、納期やサービスに対する仕事が滞ってしまう場合があります。そのような中でも、当校の生徒のために協力していただき、現場で働く機会を提供していただいています。

地域の皆様に感謝の気持ちを忘れずに取り組んでいきたいと思います。

先週から、ふれあいジョブがスタートしています。2、3年生の生徒の皆さん、保護者の皆さん、地域の皆様に支えられて実施できることを忘れずに、1回1回を大切にに取り組んでほしいと思います。

また、1年生も夏休み明けにはふれあいジョブがスタートします。実習がない今だからこそ、挨拶や返事などの日常所作、生活習慣・生活サイクルを見直し、働く実習に向けた準備をしてほしいと思います。

※次のページに協力していただく事業所を掲載します。



ふれあいジョブに協力して下さる事業所を紹介します。

(学校から近い事業所の順)

事業所名	業種等	主な実習内容の一部
松之井酒造場	製造	出荷用箱作り、ラベル貼り等
あかね園	福祉	お茶出し、整髪
千手	生産	苗箱の出荷補助、資材運び
千手温泉 千年の湯	接客	テーブルふき、チケット受け取り
ワークセンターかわにし	B型	生産用クリップのセッティング
児玉建設	建設	倉庫整理、施設整備
サイドライン	製造	部品切り取り、部品分解
エンゼル妻有	移行	絵はがき作成、
ケアセンターハーモニー	生活介護	トイレトーパーパー袋詰め
ワークセンターなごみ	移行	製品数量確認
よつば	A型	ぼん菓子袋詰め、パン製造

※移行→就労移行支援事業、A型→就労継続A型事業、B型→就労継続B型事業



全県一斉進路希望調査を行います。

全学年対象に卒業後の進路に対する希望調査を行います。この調査は、県内の特別支援学校高等部生を対象に行う調査になります。(調査期間は1学期中)

調査内容は全県でまとめ、要望として各市町村や福祉事業所、関係支援機関に伝えながら、卒業する生徒たちの受入準備や地域福祉の整備につなげていただきます。

魚沼地区では、6月21日に会議を開催し、進路希望について実数として提示し、お知らせする予定です。将来的な福祉整備や支援体制の構築をお願いしようと考えています。

当校では、5月20日に用紙を配付し、進路希望調査を行います。5月31日(火)を締め切りとしますので、本人を含めご家族で相談して下さい。



将来を考える大切な機会です。お子さんの実態や合っている業種、生活のサイクル、卒業後の継続性を含めて考えていただければと思います。

よろしくをお願いします。

過去の困った事例から、未来へ向かって ～進路担当を始めてから今までこんなことがありました～

今年、全県進路希望調査を行います。7月に入ると後期のふれあいジョブ、現場実習の希望調査を行う予定です。希望をお聞きすることが年に何回かあります。希望調査を書面で行う時や個別面談で進路の話題になった時などです。

しかし、本人やご家族から教えていただく希望が、実態や生活スタイルとかけ離れている場合があります。

＜例えば＞

- ・本人のできないこと(不得意なこと)を仕事として運営している事業所を希望
- ・時間や距離の制約で通えない場所に立地する事業所を希望
- ・毎回同じ事業所の名前しか聞かえてこない
- ・希望が聞かえてこない(分かりませんという回答や書けない) 等々。

上記の様な例により、実際に3年生になっても進路が決まらず、困ってしまったことがあります。

- ・やりたい仕事を希望し、不採用ばかり言い渡される。
 - 得意なことを生かさず、やりたいという気持ちだけで、できないことを職にしようとしている。得意なこと、不得意なこと、がんばればできそうなことを理解していない。
- ・仕事は高評価をいただいたが、通えない。(出発が早すぎる)グループホームなど一人暮らしができない。
 - 生活スタイルを想定していなかった。3年掛けて通勤や一人暮らしなどの準備をしていなかった。
- ・定員の都合や働きぶりの評価で採用されなかった。別の事業所を知らない。
 - 同じ事業所しか知らず、他の事業所の状況や情報を全くもっていなかった。
- ・進路希望がない。交渉する相手が決まらない。
 - 希望提出に間に合わせるために考え、将来の生活として具体的に考えていなかった。面談で教員の意見は聞いても、それ以後考えていない。

進路については、我々は普段の生徒の様子から相談や情報提供、助言などを行います。しかし、卒業後の進路でどこを目指すかは、本人やご家族の意思決定が基になります。学校から「卒業後は〇〇に行きなさい」という指示はありません。

選挙等でも同様ですが、障がいがあっても本人の意思決定が重視されるのです。

先ほど挙げた例は、将来や現実味の検討、情報収集ができていなかったらと思う。進路だけでなく進路教室、個別面談、PTA進路研修など情報を得る機会がありますし、進路希望調査のように考える機会もあります。実習があれば現地に行って、実際の様子を見られる機会があります。普段の生活から現実的な生活サイクルを考えることもできます。身に付けることがあれば指導も必要です。当校卒業後の進路を考える上では、子ども以上に保護者や家族が将

来について準備していく必要があります。情報を集め、確認しながら、時には自分で動くということが大切です。誰かにやってもらうだけでは実現しないのです。

当校の教育目標「夢を描き、一步一步前進する生徒」

その“夢”は「実現できる」、「目標にしていける」ものなのか、「現実からかけ離れた」ものなのか、子どもの実態を把握し、情報を集め、将来を想定し、色々な人と相談しながら、考えていただければと思います。そして実現するための取組をしていただければと思います。

新潟県立小出特別支援学校 川西分校

進路教室のご案内

今年度も進路教室がスタートします。
今回は卒業後の生活と現場の様子を中心に話しします。写真を多く見ていただきながら、将来を考える機会にさせていただきと思っています。
また皆さんから疑問点や聞きたいことがあれば、お話し下さい。話題提供の中だけでは詳しくお伝えできないこともあります。色々な視点で話ができればと思っています。
下記のように実施します。ご多用の中かと思いますが、多くの皆様からの参加をお待ちしています。

5 月 の 進 路 教 室

期 日	予定するテーマ内容
5月20日 (金)	卒業後の生活 と 現場の様子 ～卒業生の例・実習の写真・保護者から～

<時間・場所> 13:30～ 川西分校3階作業室



今年度もよろしくお願ひします。不明な点があれば、いつでもお問い合わせください。

新潟県立小出特別支援学校 川西分校

TEL 025-768-3325

FAX 025-768-3371

担当:進路指導部 細井哲明 佐藤正高

